

## 令和4年度第1回（第11期第4回）さいたま市社会教育委員会議 会議録

○開催日時：令和4年7月19日（火）10時00分～11時30分

○開催場所：別館2階 第5委員会室

○出席者名：【委員】若原 幸範議長、加藤 美幸副議長、石田 玲子委員、  
井上 久雄委員、桑原 静委員、小森谷 由紀江委員、  
佐藤 理恵委員、関根 公一委員、高山 俊介委員、  
千明 勉委員、林 弘樹委員、溝口 景子委員、  
村山 和弘委員、亘理 史子委員

【事務局】（生涯学習部）山浦 麻紀  
（生涯学習振興課）辰市 健太郎、馬場 智哉、竹居 秀子、  
田方 靖高、石田 悦子、清宮 英恵、  
伊藤 智美、清宮 雅貴、小暮 長樹  
（生涯学習総合センター）中村 和哉  
（資料サービス課）水澤 祐子  
（スポーツ振興課）細渕 裕幸

○欠席者名：塚元 夢野委員

○公開・非公開の別：公開

○傍聴人の数：なし

### 1 開 会

### 2 挨拶

### 3 議 事

#### (1) 報告事項 前回会議について

令和3年度第4回会議の概要について会議録に基づき説明した。

#### (2) 協議事項

##### ア 令和4年度 社会教育関係団体補助金について

令和4年度の社会教育関係団体補助金について、資料1に基づき説明し、意見を聴取した。委員の意見等は特になし。

##### イ 第11期さいたま市社会教育委員会議ワークショップについて

###### (ア) 事業説明・事前質問への回答

資料2別紙を基にヒアリング対象事業の「スポーツ推進委員支援等事業」について、所管のスポーツ振興課より概要の説明と、社会教育委員から事前に募った質問事項への回答を行った。

###### 【事前質問回答】

①市民と行政の連絡調整役として、具体的にはどのような役割を担っているか。

②行政及び地域と連携しながら活動するという点で、地域からの声・要望はどのような形で集めているのか。

<スポーツ振興課>

地域でのスポーツ教室等企画運営やスポーツの実技指導などの機会を通して、地域の住民の方々とのコミュニケーションを図っている。

③市内拠点数やスポーツ推進委員の具体的数値について明示されているが、他自治体との比較でどのようなレベルにあるのか。また地域独自性と絡め活動例があれば、ご提供いただきたい。

<スポーツ振興課>

人口比など条件が異なるため一概に比較はできないが、埼玉県内においては川口市に次いで多くの推進委員を委嘱している。

地域の独自性としては、市主催のランニングイベント等で運営役員として活動していただいている。また各支部においては、チャレンジスクールや区民まつりへの協力など、各支部の実情に合わせて独自のイベント等で活動いただいている。

④認知度向上について、どのような貢献をしているのか。

<スポーツ振興課>

スポーツ推進委員の職務や活動内容、連絡協議会が実施する事業内容について、さいたま市報やさいたま市ホームページに掲載して周知を行っている。

⑤募集等の周知活動に係る基本方針及び具体例をご案内いただきたい。

<スポーツ振興課>

2年に1度の委嘱・改選時期には、地域で社会的な信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を持ち、また職務を行うのに必要な熱意と能力を有する方を広く募集するため、市報や市ホームページで募集の周知をしている。

また、市内の各スポーツ団体等にも通知して周知しており、地域のスポーツ団体から選出いただき、各区の連絡協議会の支部長から推薦する形で推進委員の委嘱を行っている

⑥他団体とのつながりやネットワークを生かした活動の具体例を伺いたい。

<スポーツ振興課>

各校で実施しているチャレンジスクールでのスポーツ体験教室、PTA等からの依頼によるスポーツ審判員の派遣、地区体育振興会や区のスポーツ振興会など地域住民のスポーツレクリエーション活動の普及発展に寄与する団体への共催協力などを行っている。

⑦市民のスポーツへの関心を高め、市民が自主的にサークルなどを立ち上げ、地域で活動の場を広げることも重要と思われるが、市民の自主的活動への協力、支援についても委員が継続的に関わっているのか。

<スポーツ振興課>

ニュースポーツについて、連絡協議会での普及活動をきっかけとしてスポーツ推進委員の方が中心となって協会を立ち上げ、現在も役員を担っている例がある。

⑧スポーツ推進委員のまちづくりへの貢献としては、どのようなことがあるか。

<スポーツ振興課>

各種スポーツ教室や大会等を地域で開催して市民の皆様がスポーツを楽しめる場を提供していること、地域の行事でスポーツの指導や協力を行っていること、市の主催するスポーツイベント等で大会運営等の役割を担うことで、市のスポーツ振興に貢献し、ひいては地域や市全体のまちづくりに貢献するものと考えている。

⑨スポーツの果たす役割の重要性について伺いたい。

<スポーツ振興課>

近年のコロナ禍における外出自粛等による運動不足やストレスにより心身に悪影響をきたす健康二次被害が問題視されている中、感染予防しながらも意識的に運動やスポーツに取り組むことは健康の保持増進だけでなく、ストレス解消や自己免疫力の向上などの効果が得られ、健康二次被害を防ぐことが期待されている。このことがスポーツの果たす役割の重要性のひとつと考えている。

⑩スポーツ推進委員の選任について、「報酬」「本業との兼ね合い」などが障害となると推測するが、工夫や対策をご案内いただきたい。

<スポーツ振興課>

実際に本業を持っている方は多いため、活動等については主に土日や平日の夜間に行っている。また報酬については市が主催した事業に参加した場合に限って、1回7,800円の報酬をお支払いしているが、本業との兼ね合いで受取れないため、辞退されている方もいる。

⑪スポーツ分野での「つながりづくり」「まちづくり」への取り組みの効果を検証するために、どのような方法が考えられるか。

<スポーツ振興課>

イベント事業等を行った際に地域の方々にアンケートをとって、取り組みが「つながりづくり」や「まちづくり」に貢献しているかを確認するなどが考えられるが、客観的なデータとして検証するのは難しい。

#### (イ) グループワーク

3つのグループに分かれ、さいたま市の生涯学習として新たに考えられる取り組みや、現在行われている生涯学習の取り組みに参考にできることなどについて意見交換を行った。

#### (ウ) グループ発表

< Aグループ（発表者：村山委員） >

まず、現在行われている取組みの中で良い点として、推進委員によって健康寿命が推進されていることが挙げられた。事業の説明にあった各校のチャレンジスクールやシニア世代の公民館活動に講師を派遣し、スポーツを行うきっかけづくりをしているところが良かった。

つづいて新たに考えられる取組みについては、一つは行政の中でスポーツ推進委員、スポーツ協会、レクリエーション協会などに分かれているところを、相互のネットワークを強めることで、健康寿命の伸長や、市の目指す「日本一スポーツで笑顔あふれるまち」を実現できるものとする。

もう一点、文化芸術活動に既存のネットワークが使えないだろうか、或いはそれらにもスポーツ推進委員のような委員が作れるのではないかという御意見もあった。

その他、中学校部活動の地域移行に関連して、スポーツ推進委員のような地域の方々や部活動の担い手になるのではないかと、例えば個別競技の指導者というよりは、部活動の管理者として安全管理や活動の進捗に貢献できるのではないかと御意見があった。

< Bグループ（発表者：関根委員） >

Bグループは大きく三つのポイントに分けて話をした。まず、見える化が大事だという意見があった。例えばスポーツにおいても、アスリートを目指す方もいれば、健康づくりが目的の方もいる。そのような環境で、市民にどんな選択肢があるのかが分かりにくい部分もある。例えばドイツではスポーツフェラインという形で組織がはっきりしていて、この事例は一つの参考になる。このような形で活動の見える化をしていくのが、生涯教育とスポーツというキーワードでまず一点。

それから二点目で他組織との連携として、新しい取組みを活性化するためには、ベンチマークやライバルがあるといい。国内ならば、福岡をベンチマークとしているような交流を図る。それからさいたまはサッカーのまちなのでドイツのケルンを相手として海外と交流を行うなど世界を視野に入れると、いろいろなことが深掘りできるかもしれない。

三点目。今までの意見を全部含め、さいたま市でのフェスティバルを実施する。単独のスポーツでは限界があり、なかなか情報公開もできないが、まち全体で展開して、ある時期ある日に開催する、場合によっては文化的要素も引き入れる。ベンチマークとしては、横浜のスポーツフェスティバルフェアが参考になると思う。

以上、三ポイントを挙げたが、小さな町ではこのような取組みは難しい。一方で東京のように大きい都市だとまた別の理由で難しくなってくる。しかし、さいたま市は133万人というある意味丁度よい基盤があることで、独自性を出して色々なことができる。

加えて、さいたま市は浦和市・大宮市・与野市・岩槻市が合併して成り立っているが全体での共同意識が少し薄い面がある。このような展開をすることで、もう一度、住民としての自負心や、最終的にはさいたま市で生きていることへの満足感が

得られ、生涯学習にも十分メリットがあると考える。

<Cグループ（発表者：石田委員）>

Cグループではスポーツ推進委員のことがよくわからずに疑問だけがでてきてしまい、まとまった話が出来なかった。

話しをスポーツに絞らずに、まちづくりと生涯学習につながるための観点として、まちづくりの大学とか、コミュニティスクールとか、公民館とか拠点を決めて、今後、地域とつながって、スポーツも、その地域の伝統とかも、あまり分けずにやっ払いこうという話をした。

### 【総括】

<副議長>

今回はスポーツ推進委員を題材として取り上げたが、それだけに留まらず全体的な提言に向けて、各グループで大変活発に議論していただけたものと思う。

今回はスポーツ推進委員について詳しく説明していただいたので、議論がそれに引きずられてしまった面があったかもしれないが、例えばもう一つ二つ、簡単に事例紹介していただいて比較して考える、もしくは事例紹介はなしで一からワークショップで考えてみましょうという方向もありかと思う。

もっと時間を取れば話が盛り上がり、途中でメンバーチェンジなどをしてみると、他グループの話し合いもわかって、話し合いにもさらに広がりができるかと思った。

今回ワークショップという機会を持てたことで、話し合いも深まり、良かったと思う。

<議長>

たくさん大事なことが指摘されたと思うが、キーワードを二つに絞ってお話をさせていただきたい。

一つにはネットワークや連携をキーワードとして、生涯学習ビジョンには個人の成長から輪の成長・まちの成長があり、その中心につながりづくりとあるが、そのつながりとは実は市民同士のつながりづくりだけではないという話があった。スポーツ分野の中でもまだつながりが深めてられてない部分があり、今回はスポーツ分野の話だったが、生涯学習は多様な分野に跨っており、その分野を超えた繋がりが薄いということは共通の課題の一つだと思う。これをどう乗り越えていくのか。その仕掛けとして、例えばCグループではコミュニティスクールや公民館などの拠点づくりがあり、Bグループからはフェスティバルを企画して、分野を超えた交流が起こるような仕掛けをする提案があった。こういった取組みをさらに具体化して考えていくことが必要かと思う。

関連してもう一つ、可視化・見える化がキーワードとなっていた。Bグループの発表では、地域の中で生涯学習やまちづくりの多分野で活動されている方をどのように可視化していくのが重要だという話があった。見えるからこそ繋がること

できるし、可視化・見える化というのは今後大きなテーマになりうると感じたということで、今回のワークショップの私のまとめとしたい。

最後にワークショップに関わって議長からの提案だが、生涯学習は本当に多様な分野に関わるものなので、いろいろな活動を聞いた上で議論が必要だと思う。しかし正規の社会教育委員会会議だと、あと一回しかワークショップの時間を取れない。そこで正規の会議の時間外でワークショップを行う機会を設けたいが、いかがか。

(各委員承認)

具体的な方法や日程については事務局と相談し、決定したら連絡したい。

### (3) 連絡事項

生涯学習振興課長が出席した「令和4年度指定都市社会教育主管課長会議」の概要について報告した。

また、「令和4年度さいたま市生涯学習ガイドブック」と「さいたま市生涯学習学びのネットワーク」について委員に紹介した。

## 4 閉会

以上

まとめシート（Aグループ）

各スポーツ団体が点で動き、  
同じ目的で動いているのに広  
がりが見えない。ネットワーク  
で動く

場所の提供  
例：自習室 スポーツの練習

スポーツ推進委員のような仕  
組みを  
文化芸術・地域づくり（指導  
員・コーディネーター）でも  
出来ないか

ビジョンの理解ではなく、融  
合（組み込んだ）形で浸透し  
ていけないか

健康寿命の推進に

健康づくりの重要性が長寿社  
会での生きがいに通じるもの  
と思う

区や学校のPTA組織の依頼  
により、スポーツの体験活動  
の支援  
人づくり→つながりづくり  
ストレス解消コミュニケーション

データを明示  
例：予算 学習時間

1. 参考にできること  
申込、登録の簡素化や廃止
2. 理由  
参加をスムーズにする

# 133万人

## まとめシート (Bグループ)

「年代別スポーツ参加イメージの提示」  
①一本 ②年齢に応じて、生涯学習のツールとして

活動  
見える化  
見学しやすい

「独スポーツフェラインのさいたま市内バージョン検討」  
深く街にはいりこむ

活動の見える化

「他組織（地域）との交流」  
特定の都市との提携  
（国内・福岡  
海外・ケルン）

世界大会をまねく

他組織との連携

「さいたま市包括スポーツイベント開催」  
（横浜元気スポーツレクリエーションフェスティバル参照）  
市民一体化と多様性

本日のスポーツ関係では、スポーツの全事業が集う場が必要ではないか。（スポーツの種目別大会はたくさんあると思う）

機会をふやす  
イベント、  
フェスティバル

市民の健康保持のための取り組み

「協会」という普及文化

各支部組織化

「生涯学習フェスティバル」のような全体を束ねる行事の（場の）設定を計画してはどうか。（定期的に行い評価していく）

行政区ごとのまちおこし  
各分野から募集した産業をまとめたイベント



まとめシート（Cグループ）

公民館にまちづくり大学校をおく  
コミュニティスクール

まちづくり大学校（地域づくり）の創設  
↑  
市民大学、シニアユニバから  
一歩焦点化

他分野の推進委員の新設（例えば伝統文化とか）

スポーツクラブのインストラクターに推進委員募集をつのる

スポーツ推進において生涯学習の位置づけには誰でも気軽にスポーツを楽しむことが大事。障害を持った方も推進委員として活動できるようにしたい

チャレンジスクールボランティアへの協力  
コミュニティスクール

ニュースポーツ以外ZUMBAなどを教える人がいるのか？

スポーツ推進委員を意外と知らない

スポーツ推進委員が地区に何名いるのか？

体育振興会との違い

シティマラソンなどさいたま市主催の様々なスポーツ大会での活動において、推進委員をPRする場があれば

P T A 保護者  
元会長 元中学校長  
民生委員 青少年育成会

地域との連携  
コミュニティスクール  
地域の方  
伝統、祭り